



平成26年12月17日

医療や健康づくりにかかわる研究、教育、人材育成、地域連携等の協力を進めるため、独立行政法人国立循環器病研究センターと関西大学が包括協定を締結します。

独立行政法人国立循環器病研究センター(理事長:橋本 信夫、以下「国循」と言います)と関西大学(学長:楠見 晴重)は、医療や健康づくりにかかわる研究、教育、人材育成、地域連携等について相互の協力を進めるため包括協定を締結します。国循が移転先の健康医療のまちづくりに関して大学と協定を締結するのは初めてです。

【本協定の概要】

(協定締結の目的)

国循は、国の医療政策と一体となって国民の健康を守るため、1977年(昭和52年)に設立された国立高度専門医療研究センターで、日本における循環器病の研究及び治療機関の最高峰の一つとして知られています。国循は、平成30年度を目途に吹田操車場跡地(JR京都線「岸辺駅」前)へ移転し、循環器病の予防と制圧を図る等の観点から、移転周辺用地を含めて、地元自治体等とも協力して、医療クラスターの形成を目指しています。

関西大学は、1886年(明治19年)に関西法律学校として開校され、現在は13学部と13の大学院研究科と3専門職大学院、そして留学生別科を擁する関西屈指の総合大学として発展しており、2012年(平成24年)から国循とは連携大学院協定を締結して生命科学に関する研究・教育を進めています。また、国循と同じ吹田市に存するという地理的利点を活かし、医工連携・産学官連携や健康医療のまちづくりを目指すという観点から、吹田操車場跡地での医療クラスター形成に積極的に協力し、地域への貢献を目指しています。

今回は、両機関が医療や健康づくりにかかわる研究、教育、人材育成、地域連携等を進めるため包括協定を締結し、相互の人的、知的、物的資源の交流と活用を図り、医工連携・産学官連携を基本に、医療・ヘルスケア産業の発展や健康づくりに関する取組みを進めます。

(今後の取組み)

両機関は、速やかに実務代表者からなる「国立循環器病研究センター・関西大学連携推進協議会」を設置し、定期的に、協力連携について具体策の検討や進捗状況の確認等を行い、本協定を実効あるものにするためにフォローアップをすることとしています。

また、関西大学は、健康医療のまちづくりに寄与するために、自治体、企業、NPO等と協力して、健康医療まちづくりのための研究開発・社会実験、人材育成プログラムの開発等を行う「関西健康医療まちづくりフューチャーセンター(仮称)」を国循の移転周辺用地において設置運営することを検討しており、国循はこれに協力を行います。

お問い合わせ先

国立循環器病研究センター

総務課 広報係 岡崎

06-6833-5012(2116)

関西大学

広報課 中川

06-6368-0007(直通)